

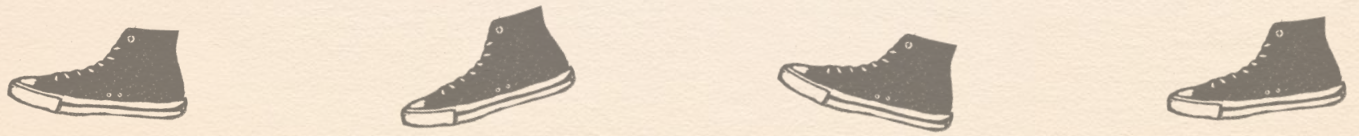
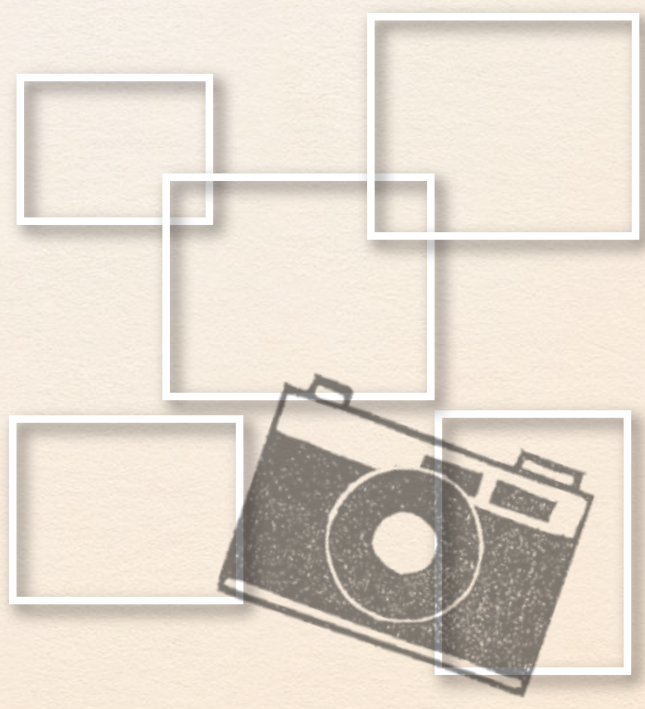
近ネ短信

Kinnetansin

00 目次

- 1 : 会長挨拶
- 2 : 総会報告
- 3 : これからの行事
- 4 : 昨年度秋季見学会の報告
- 5 : 新春懇親会の報告
- 6 : 総会資料
- 7 : 総会資料
- 8 : 会員名簿と会則

※8/10(水)までに k-sugiyama@thsnet.co.jp まで別紙 HP の回答をお願いします。



盛夏の候、会員各位ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

第9回定時総会を5月20日(金)に、山口県湯田温泉にて開催いたしました。会員総数30名のうち本人出席11名、委任状出席18名となりました。

ご多用のところ遠方よりご参集いただきました会員さまにおかれましては、まことにありがとうございます。

また、第4号に渡る議案審議も滞りなくご承認いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今回の事業計画で、当会のホームページを作成することになりました。

それにあたり本会の前歴から調べましたところ、なんと大正13年に元となる組合が発足しておりました。

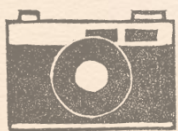
ご存知の方もおられるでしょうが、昭和30年から前協同組合設立となっており、広島ネームプレート工業(株)の曾里様、京都銘板(株)の太田様方々の初代役員のお名前が記されておりました。当時の会社を取り巻く実際の事情がどんな様子だったかは私にはわかりませんが、前協同組合に変更時の日本は、高度経済成長のはじまりの神武景気の時でした。朝鮮特需により、1956年(昭和31年)の経済白書には「もはや戦後ではない」とまで記され、戦後復興の完了が宣言されました。

また、好景気の影響により、耐久消費財ブームが発生し、我々銘板業界にも多大な恩恵をいただきました三種の神器(冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビ)が出現した頃でもありました。

翻って今はどうでしょうか。現代は少子化にはじまり、英国のEU離脱等未来は混沌としています。

当時のような右肩上がりの経済成長の期待は出来ない今でこそ、会のメンバーの知恵と技術を結集してこれからくるであろう難局を乗り越えていきたいと思っています。

今後とも近畿ネームプレート工業会を意義ある会にしていけますよう、精一杯尽力していく所存でありますので皆様のご指導ご鞭撻、ご協力をかわらずよろしくお願いいたします。



2016年5月20日（金）、山口県湯田温泉『ユウベルホテル松政』において、出席11社、委任状出席19社、計30社の出席で第9回定期総会を行いました。慎重に議事を進行し滞り無くすべて承認の運びとなりました。

今期は10周年となり、恒例の秋季見学会は10周年記念見学会的な感じでやりましょうとの意見が出てました。

詳細はまた追ってメール等でお送りいたします。

総会后、温泉に浸かり疲れと汗を流し懇親会へ。。。。。



◀ ▲ 総会報告



03 これからの行事

先ほども触れましたが、秋季見学会を10月～11月の予定で考えています。

日には決定しだい、ご連絡いたしますのでスケジュールを空けておいてください m(__)m

21日（土）は、湯田温泉駅から津和野まで『SL やまぐち号』に乗車。

湯田温泉駅で、新山口駅より走ってきたSLを見つつ、スマホで写メ、カメラで写真を必死で撮り、2両目の欧風車両に乗り込みました。

乗ってしまうと動いているSLの姿が見ることができないので、湯田温泉駅から乗り込んだのは正解でしたね (^_^)

途中、急勾配に差し掛かる前の駅で、パワー充填するために10分ほどの停車時間がありほとんどの乗客が先頭のSLに行って写真タイム (^_^)/

そこからしばらく走り、長いトンネルでは車内に煙が入ってくるなど、のどかな雰囲気でもう一度10分程度の停車。約2時間ののんびりしたSLの旅で津和野へ到着しましたが、なかなか趣もあり楽しめました。

帰りは、時間の兼ね合いもあり特急『スーパーおき3号』で一路新山口駅へ。ここで解散となりました。

総会11名、2日目が7名の出席者でしたが、秋季見学会はたくさんの出席を役員一同期待しております。



トヨタ産業
リニア・鉄道館

10月30日～31日にかけて、名古屋・長島温泉へ行きました。参加人数は12名です。

まず、トヨタ産業技術記念館へ見学。トヨタ産業技術記念館は、1994年6月、名古屋市西区・栄生の地に開館しました。往時の様子をとどめる豊田自動織機製作所栄生工場（豊田紡織より移譲）を産業遺産として保存しながら、近代日本の発展を支えた基幹産業の一つである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動

車の技術の変遷を通して、日本の産業技術史について次代を担う人たちへ系統的に紹介するための施設です。

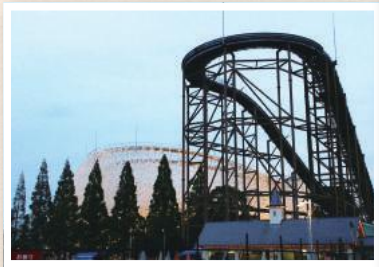
織機の発明に一生を捧げた豊田佐吉。その長男として自動車製造に取り組み、トヨタ自動車工業を創業した豊田喜一郎。トヨタ産業技術記念館は、豊田佐吉が『發明私記』にも記した飽くなき「研究と創造の精神」と、自動車の国産化に挑んだ喜一郎が情熱を注いだ「モノづくり」の大切さを、

広く社会に伝えることを基本理念として活動しています。

そして、リニア・鉄道館へ見学。

ここは、東海道新幹線をはじめ、古い在来線から未来のリニアモーターカーまでの技術の変遷を見ることができます。京都鉄道博物館と見比べるのも面白いかもしれませんね。

宿泊は、三重県長島温泉ホテル花水木へ。



少し早い目に到着したので、温泉へ、又は遊園地のナガシマスパーランドへ。

スパーランドは日本でもトップクラスの絶叫系マシンが充実しており、週末になると2時間以上待ちの行列がでかたりします。今回は閉園一時間前だったので行列も少なく、フライングコースターとしては日本唯一で！日本一！超大型“うつぶせ”フライングコースターとして日本初！世界最大級のフライング

コースター「アクロバット」そして全長2,479mは世界一のスケール！その上、高さ・落差は日本一を誇るナガシマスパーランドの「スチールドラゴン2000」などなどを堪能しました。

懇親会は、当日の宿泊客が少ないのか100人以上入れる大広間に当工業会12人だけという少し隙間風が吹くような感じでした・・・・・・・・。

明けて次の日は帰るだけということもありチェックアウトまでゆっくり温泉に浸かり、名古屋駅にて解散いたしました。



05

新春懇親会の報告

2月6日(土)神戸元町の龍郷にて参加人数21人で行いました。

たくさんの出席もあり、楽しくかつ情報交換もでき盛会のうちに終了しました。

また、前年度の会長の旭銘板(株)山下社長へ慰労を込めて中川新会長よりサプライズプレゼントを贈呈いたしました。





総会・懇親会



平成28年6月5日（日）各地よりJR名古屋駅に参集し、バスにて開催場所の高山市に向かいました。到着後、高山屋台の実物をみたりしながら、どこか懐かしさを感じさせる街並みを散策しました。その後午後4時半より「ひだホテルプラザ」において、東京支部9名、中部支部9名、賛助会員の当会は中川会長、杉山副会長2名の出席で総会がとりおこなわれました。

後にホテル宴会場にて懇親会が開催され、当会より8名が参加しました。来年は当会が幹事役となることが決まり、懇親場所などの話合いも行われ終始和やかな雰囲気のもと過ごしました。その後二次会へと場所を移し、自慢の喉を聴かせる人、コップ笛などの特技を披露する人など楽しい時間を過ごすことができました。翌日は陣屋朝市などを散策してから帰路につきました。途中世界遺産の白川郷に立ち寄り、厳しい自然と共に生きる昔ながらの生活の知恵を垣間見、JR名古屋駅にて来年の再開を期して散会となりました。

このような素晴らしい時間を過ごせたのは企画を立てていただきました中部支部の皆様のおかげです。この場をかりて厚く感謝申し上げます。